



CAMPANOLA

INSTRUCTION
MANUAL

取扱説明書

ご使用になる前に

バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。バンド調整は、お買い上げ店にご相談ください。お買い上げ店以外では有料、または取り扱っていない場合があります。ご転居や贈答品などの理由で、お買い上げ店でのサービスを受けられないときは、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

機械式時計について

本書に記載されている精度表示は、静的精度です。機械式時計の精度は、次の使用条件などにより精度範囲を超える場合があります。

ぜんまいの巻き上げ量

機械式時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で、最も安定した精度を維持することができます。

姿勢

機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。身につけているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。

温度

機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張収縮やばねとしての性質の変化の影響を受けて精度に差が生じます。

磁気

機械式時計は、一度磁気の影響を受けると、磁気から遠ざけても機械内部に磁気の影響が残り、時計精度に影響を及ぼす場合があります。この場合は、修理が必要となりますので、磁気には十分にご注意ください。

スマートフォン/テレビ/携帯音楽プレーヤー/オーディオスピーカー/ヘッドホン/ノートパソコン/磁気健康器具
交流式電気カミソリ/ハンドバッグの留め具/冷蔵庫のマグネットドア 等

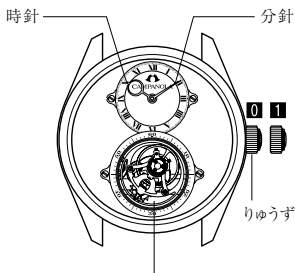
※密着状態では磁気の影響を強く受けますが、5cm程度離せば、ほとんど影響を受けません。

衝撃など

機械式時計の精度はてんぶの回転に基づいています。強い衝撃や連続した衝撃は、てんぶの運動に強い影響を与えますので、機械式時計の精度を大きく損ないます。衝撃があまりに大きいと、てんぶが変形したり、破損してしまう場合もあります。落としたり、身につけたままゴルフやテニスのような、手首に強い衝撃が及ぶスポーツをしたりしないようにご注意ください。

操作方法

部品と名称



トゥールビヨン上での秒表示

仕様

機種：Cal.Y392

型式：機械式手巻時計

使用貴石数：29石

時間精度：平均日差-4秒～+20秒（静的精度）

表示：時、分、トゥールビヨン上での秒表示

持続時間の目安：約90時間（最大巻上時）

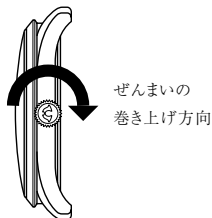
振動数：21,600回/時（6ビート）

※精度は、ムーブメントを静的状態にて測定したものです。機械式時計の特性上、ご使用になる条件（携帯時間、時計の姿勢、腕の動き、ぜんまいの巻き上げ具合など）によっては日差範囲を超える場合があります。持続時間は目安です。

ぜんまいを巻き上げる

この時計は、ぜんまいを原動力とする機械式時計です。

1. りゅうずの位置を**0**にする
2. りゅうずを回して、ぜんまいを巻き上げる
 - ・ りゅうずを**0**位置で右に回すと、ぜんまいが巻き上げられます。
 - ・ 部品への負担を軽減するため、ゆっくりとりゅうずを回してください。
 - ・ ぜんまいが巻き上がると、りゅうずが右に回せなくなります。
りゅうずが回せなくなってもぜんまいを巻き上げようとする、部品が破損する可能性があります。
 - ・ より精度を保つため、毎日巻き上げることをおすすめします。



時計の合わせかた

1. りゅうずの位置を**1**にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
3. りゅうずの位置を**0**に戻して終了する



機械式時計のお手入れについて

機械式時計は、油切れや摩耗などにより精度が不安定になります。定期的（2～3年ごと）に分解掃除（有償）をご依頼ください。また、長期のご使用による部品の摩耗などが原因の性能の劣化は、修理による初期性能への復元が困難な場合もあります。

取扱上の注意



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、お読みください。

○表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

○お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です)

 禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 注意喚起	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

警告

- ・防水性能表示を確認し、範囲外で時計を使用しない
防水性能は、時計の裏ふたや文字板に表示されています。

防水性能表	使用の程度
WATER RESIST (W.R.)	洗顔、雨程度まで

- ・指定機種以外をスクーバ潜水、飽和潜水に使用しない

注意

- ・極端に高温/低温な場所で時計を使用/保管しない
特に、下記のような高温の環境では、時計の破損や故障の原因となります
-サウナ、ハロゲンランプの近く(50cm以内)、車のダッシュボード上
- ・時計をしたまま激しい運動や作業を行わない
- ・時計が濡れているときに、りゅうずを操作しない
- ・時計を以下に近づけない
化学製品(ガソリン/マニキュア/クレゾール/トイレ用洗剤/接着剤/撥水剤)、
磁気(磁石/スピーカー)、静電気
- ・落とすなど時計に強い衝撃を与えない
- ・時計を清潔に保つ